

NPO 法人 純正律音楽研究会会報 ～2022年11月発行～


ひびきジャーナル



〒169-0073 東京都新宿区百人町4-4-16-1218 Tel:03-5389-8449
Fax:03-5389-8449 e-mail:puremusic0804@yahoo.co.jp

発行日 2022年11月28日
発行責任者 NPO 法人 純正律音楽研究会
編集 相坂政夫

No.74



「癒しのクリスマスコンサート2022」
2022年12月22日(木)
午後2時開演
横浜市磯子区民文化センター
杉田劇場

落ち葉の散り敷く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、今年最後のコンサートを、12月22日(木曜日)「癒しのクリスマスコンサート2022」横浜市磯子区民センター「杉田劇場」で開催いたします。

出演：水野佐知香(vln)、三宅美子(hp)、吉原佐知子(箏)、山田恵美子(fl)
荒井章乃(vln)、杉本伸陽(vla)、齋藤章一(vc)

新型コロナウイルス感染対策のため、会場内では常時マスクの着用、手指消毒などにご協力をお願いいたします。

体温が37.5度以上ある方又は、体調のすぐれない方はご来場をお控えください。

ご多忙中とは存じますが、ご来場いただければ幸いです。

去る11月8日、故玉木宏樹氏の奥様、玉木とみ子様がお亡くなりになりました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

純正律音楽研究会の事務所は下記に移転いたしました。

新住所：東京都新宿区百人町4-4-16-1218

Tel 03-5389-8449 fax 03-5389-8449

今後とも純正律音楽研究会をよろしくごお願い申し上げます。

玉木とみ子さんとのお別れ

洗足学園音楽大学客員教授・ヴァイオリニスト
NPO 法人 純正律音楽研究会 代表
水野佐知香

寒かったり暖かかったり、落ち着かない天気の日です。会員の皆様！お元気で過ごしてはいかがでしょうか？

先日は、玉木宏樹さんの奥様、とみ子さんのお葬式でした。我が家から出て駅までの間に雲が八分音符を見せてくれました。まるで天から八分音符が降りてきたようでした。きっと玉木さんが奥様のとみ子さんをお迎えにいらしたのでしょう。お葬式には、お二人のご結婚式のお写真、結婚式で読まれたと思われる長〜い巻物に達筆で書かれた宣言書など、お二人が愛し合っていた証の数々が置かれていました。玉木宏樹さんが天国に行かれて10年になりますか、やっとお二人はご一緒になられて、天国で再会されていることと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。合掌

さて、2022年も残すところひと月とちょっとになりました。純正律音楽研究会のコンサートは12月22日横浜での「癒しのクリスマスコンサート2022」で今年の締めくくりとなります。今回は、玉木宏樹の世界を満喫していただきたく、彼の弦楽四重奏曲を中心にフルートの山田恵美子さんも入りコンサートをさせていただきます。もちろんハープの三宅美子さん、お箏の吉原佐知子さんもご出演です♥楽しいコンサートになること間違いなし！今からワクワクしています。

先日、アルゲリッチと海老彰子さんのデュオコンサートを聴きにホームグラウンドのみなとみらいホールに行ってきました。アルゲリッチが素晴らしいのは、わかっていたのですが、海老さんの素晴らしい事！目を瞑って聴いているとどちらが弾いているかわかりません!!本当にすばらしかったです。その海老さんと12月17日にトリオをご一緒に演奏させていただきます。やはり杉田劇場です。世界の音楽事情をお聞きするトークと公開レッスンもあります。今からドキドキ、ワクワク、身が引き締まる思いです!!

玉木さんの楽譜のデジタル化をヴァイオリンの杉本伸陽さんと作曲の矢澤弘章さんのお二人で連携してやってくれています。ありがたいです。膨大な楽譜の量ですが、後世に残せればと思います。ヴァイオリンデュオの楽譜も3冊重刷になりました。2000年に出版された楽譜の改訂版です。

玉木さんの音楽は永遠です♥

玉木とみ子さんの旅立ちに

NPO 法人 純正律音楽研究会 理事
ハーブ奏者 三宅美子

もう何年も前から、容易万端済ませでの旅立ちだったと思いました。

玉木宏樹さんが亡くなってから、ほぼ無理矢理に参加させられてきた俳句の会、などと言いながらも、約10年続けてこられたのは毎月、締め切り日2~3日前、時にはもっと前から、最終的には締め切り当日朝に掛かってくるとみ子さんからの督促電話のおかげでした。

私は、初歩的間違いは指摘されても「そうでした」と直す素直な生徒だったので??俳句も上達できたのでしょうか(笑)。言われるままに「銀座百点」に投句して11月、12月と2ヶ月連続して「百点」に入選しました。

「あなた、ここに入選するってすごい事なのよ!」と言われて、「ふ〜ん、そうですか」なんて答えていても、そそくさと用事をつくっては銀座へ出かけ、「私の俳句が、載ってるんです!」とお店や案内所を巡回するのがいつしか楽しみになりました。

毎月の句会では選句した句について、いろいろな指導やお話もしましたが、その後でのとみ子さんの手料理とビールが実は長続きの理由でした。そしてなにより、入れてくださるお茶が、本当に美味しかったです。

流石に、美校出身だけあって、美意識の高さを尊敬していました。多少ぶっきらぼうで率直すぎる口の悪さも、そのまま真に受ければ喧嘩したくなりますが、高い美意識ゆえの表現であって、美に対する深い洞察と愛情が感じられました。

その深い愛情は、「玉木宏樹」という男に全力で注がれ続けたのだなあ...と改めて認識した、容易万端整え準備して夫の元へと旅立つご葬儀でした。

とみ子さん、俳句に導いて下さりありがとうございます。もう締め切りコールはいいですから、よい句が出来たら「百点」くださいね!私のYouTube 概要欄の「俳句監修 玉木とみ子」は今後もそのままにしておきますね。

どうぞ安らかに、宏樹さんと仲良くおやすみください。 感謝

彼方への冬の旅路は暖かね! 美子

ムッシュ黒木の純正律講座 第73時限目
平均律普及の思想的背景について(62)
純正律音楽研究会理事 黒木朋興

久しぶりに芸術の話に戻ろうと思う。

私の研究のテーマは、フランスにおける絶対音楽の理念の受容状況の調査である。正直、フランス文学研究の同業者が絶対音楽の理念をなかなか理解してくれなくて苦労している。ところが、最近、私の同業者たちは標題音楽すら理解できていないのではないか？と思うようになった。

ドイツや英米系を中心とする音楽学の世界では、19世紀から20世紀にかけて絶対音楽と標題音楽の対立が重要な論点となったことは広く知られている。絶対音楽とは楽器の響き中に音楽の本質に求める考え方なのに対し、標題音楽とは歌詞、ダンス、演劇や標題を含めた総合的な表現の中に音楽の理想を見る見方である。

2022年6月19日、東京恵比寿の日仏会館で『日仏シンポジウム 芸術照応の魅惑5 ボードレール 詩と芸術』という国際シンポジウムがあり東京大学名誉教授である中地義和氏が「ボードレール批評における音楽」という発表をするというので、早速行ってきた。中地氏と言えばランボー研究者として内外で非常に名高い研究者である。その彼がボードレールのワーグナー批評について発表するというので、私としては自分との研究の関係で聞かないわけにはいかないのである。

率直に言うるととてもがっかりしてしまった。予想以上の期待はずれであった。私の同業者たちは絶対音楽どころか、標題音楽も満足に理解していないという事実には私はどうしようもないくらいの脱力感を感じてしまった。

標題音楽の話は次回に詳しくするとして、まずは中地氏の音楽に関する知識の欠乏を指摘したい。中地氏はボードレールの絵画論とワーグナー評論の比較を行ったわけだが、そこでボードレールの「和声は色彩理論の基礎である」という一文を引用している。なおこの引用はハンドアウトに印刷された形で聴衆に配られていることを言い添えておく。ここでの和声の仏語は「l'harmonie」、つまりハーモニーである。ここで中地氏は「色彩のハーモニー」というテーマを議論の俎上にあげたわけだ。

問題は、この「ハーモニー」の訳語が果たして「和声」で良いのか？ということである。この言葉には、「ハーモニー」の他に「調和」や「諧調」などがある。ここで中地氏は音楽用語ということで「ハーモニー」を選んだのだろう。しかしこの言葉は音楽家の文章の中で出てきたとしても、「ハーモニー」と訳してはいけないケースがあるのだ。

ここで「色彩の和声」と「色彩の調和」という二つの訳語を比べてみよう。前者が比喩になるのに対し、後者はならないことがわかるだろうか？ 和声とはドミソの和音をトニックとする調性のシステムことを指すわけで、当然に色彩に調性システムはない以上、「色彩の和声」は比喩表現ということになる。対して、「色彩の調和」はそのままの表現だ。これを比喩ととるかとりえないかで解釈が大きく変わってくることになる。

この一文の後には「旋律は色彩における統一性、あるいは色彩全般である」とある。ここでボードレールが行いたいのは、音楽と絵画の比較＝比喩の議論

である。絵画作品において展開されている色彩の調和をよく観察するとその中から一つの主題が浮かび上がってくる様を見てとれると詩人は指摘する。つまり、絵画作品におけるその主題はまさに音楽における主題となっている旋律に対応しているというわけだ。ここでは、音楽と絵画は比較＝比喻関係が論じられているわけであるが、絵画における「主題」や「色彩の調和」は比喻表現とは言えず、直接的な説明ということになる。

さらに数行おいたところにある「色彩における様式と感情は選択に由来し、選択は気質に由来する」という一文を中地氏は引用している。ここでの問題は「気質」という言葉だ。これの原語は「テンペラメント(temperament)」であり、音楽用語としては「調律」や「整律」という言葉を当てるのが普通である。音楽の議論なら「調律」や「整律」の選択が旋律の表現に多大なる影響を及ぼすことは知られている。つまり、同じメロディを平均律、中全音律やピュタゴラス律で演奏すると、それぞれ表現が変わってくるという話だ。そこで中地氏になぜ「テンペラメント(temperament)」に「気質」という訳語を当てたかを質問したところ、この言葉が音楽用語であることを知らなかったとのことであった。

ボードレールは絵画評論の書き手であったことは知られており、フランス文学の領域では文学の議論だけではなく絵画論との比較研究も非常に盛んである。よって、フランス文学研究者には美術史の知識に長けている方が多数いる。対して、音楽に関しては極めて貧弱な状態が続いていると言って良い。中地氏ほどの研究者でさえも音楽学には通じていないのである。音楽と文学というテーマが未だに未開拓な領域であるということを感じ知らされた。

今回はボードレールと標題音楽について述べてみたいと思う。従来の音楽学の世界の理解で言えば、この二つは対立するものとして議論が進んできたが、多くの論争がそうであるように。

贋作三人衆他、その3

純正律音楽研究会 初代代表
玉木宏樹遺作

クライスラーの次は、カサドシュ兄弟です。日本でファンの多いピアニスト、ロベール・カサドシュはこの二人の甥になります。兄のアンリ(1879～1947)と弟のマリウス(1892～1981)が、クライスラー的贋作に深くかかりました。ここでは主に弟のマリウスのことを述べたいと思います。

私がヴァイオリンを始めたのは小学校4年生でしたが、6年生になったとき、ヴァイオリンの先生からある曲を練習するように言われました。その曲はモーツァルトのヴァイオリン協奏曲 No.7 で「アダライード」と名付けられた、**Konh.294a** といひ整理番号まで与えられています。Kはケツヘルで、モーツァルトの作品を通し番号で整理したケツヘル氏によってつけられた番号です。onhというのはドイツ語で補遺という意味で後に追加された番号です。私が買った輸入版の楽譜には、10歳のモーツァルトが、ルイ15世の長女アダライード姫に献呈したと書かれてあります。私はヴァイオリンを練習するのは嫌いだった

のですが、この曲の美しさには驚き、結構熱心に練習した記憶があります。

協奏曲は普通 3 楽章で構成され、1 楽章と 3 楽章はテンポが早いのですが、2 楽章は遅いのが普通です。子供時代の私は情動が激しく、つまり落ち着きのない子だったので、この遅い楽章というのが、どの曲でも理解できませんでした。早い話が退屈この上ないのです。ところがこの「アダライード」の 2 楽章は速度指定は遅いのですが、奏いてみると全く遅くないので、10 歳のモーツァルトも遅い曲が嫌いだったんだらうと、物凄くシンパシーが湧いたものでした。しかし後に 1977 年になってこの曲はマリウス・カサドシュの贋作であることがある裁判中に明らかになってしまいました。私が 34 歳の時でしたから、私自身まんまと騙されていたわけです。

この贋作者のマリウス・カサドシュはフランスのヴァイオリニストで、兄のアンリと共に古楽の演奏にも長けていました。ヴィオラ・ダ・ガンバも演奏し、楽器製作も行っていたようです。「アダライード」がマリウスによって再発見され、出版されたのは 1933 年でした。クライスラーの贋作が発覚する 2 年前でした。ヴァイオリニストで古楽にも強いマリウスにしてみれば、クライスラーが発掘したと言いつ張ったプニャーニ、マルティーニ等々の怪しさは充分に見抜いていたのではないのでしょうか。そして、モーツァルト研究の権威、フリードリッヒ・ブレーメによってもモーツァルトの真作と鑑定され、メニューヒンが LP 録音する、という流れになってみると、この事件はクライスラーの垂流というよりは、フェルメールの贋作者、ハン・ファン・メーヘレンの事件に似ているのではないだろうかと思えてきます。

ところで、ブレーメによって太鼓判を押され、ケッヘル番号まで付けられた「アダライード」が贋作だったことがバレたのはどういう経過だったのでしょうか。実はブレーメが断定する前に、もうひとりの音楽学者、アルフレート・アインシュタインにもこの楽譜(マリウスが校訂したといわれるピアノスコア)が送られていました。その時アインシュタインは、発見した原譜を見せてくれるように何度も言ったのにも拘わらず、見せてもらえなかったことに不信感を覚え、「アダライード」のことを「クライスラー風、”煙幕を張られた作品”」と呼んでいました。そして、1977 年、音楽著作権に関する裁判闘争の中で、アインシュタインによって激しく追求されたロベールが遂に自分の贋作であることを認めたのでした。

彼の兄、アンリ(1879~1947)はヴァイオラ奏者で、若い時はサン・サーンスと共に「古楽器協会」を設立し、ヴィオラ・ダ・ガンバ、やヴィオラ・ダ・モーレを演奏して、古楽の復興に努めましたが、そこで甦演された曲は全部アンリの贋作だと判定されています。この兄弟がなぜ贋作に走ったのかの研究は今のところ見られません。しかし、クライスラー的な気分刺激されたのはよく分かります。私自身、若い頃、ニセモノの古典的な曲を書き演奏すると、誰ひとり、お前の曲だらうという人はいませんでした。だから人を騙す作曲法も随分研究？したものです。

兄のアンリの一番有名な贋作は、バッハの次男、CPE・バッハの「ヴィオラ協奏曲ニ長調」と言われています。この曲は世界中に広まりいろんな人の録音が残っています。また、ヘンデルの「ヴィオラ協奏曲」、ヨハン・クリスティアン・バッハの「チェロ協奏曲」も贋作しているそうです。

CD レビュー 純正茶寮
『CHICHIBU』(1999)
純正律音楽研究会理事 黒木朋興



『CHICHIBU』(1999)

笹久保伸

レーベル : CHICHIBU LABEL

ASIN : B09339H88M

秩父在住のギタリスト、2021年の作品。タイトルはずばり「CHICHIBU」。コロナ禍の世界においてネットで世界のミュージシャンと連絡を取り合い仕上げたアルバムになる。

彼の場合、次から次へと新作を出すので2021年の作品といえど最新作ではない。ファンがCDを集めるより作品を発表するペースの方が早く、まるでフランク・ザッパを思わせる。

残念ながら、ギターは純正律を響かせるのに良い楽器とは言い難い。ただし、ギターは弦を弾いて音を出す楽器で、音がすぐに減衰してしまうので響きの濁りもほとんど気にならない。特に笹久保はこのアルバムでは伴奏に徹しており、そしてギターのリズム楽器の側面を前に出した曲作りになっていることも功を奏している。

このアルバムにおいて注目すべきはゲストミュージシャンとして参加しているサム・ゲンドル (Sam Gendel) のサクソ、Salmaso(モニカ・サルマーズ)の歌声、Joana Queiroz(ジョアナ・ケイロス)の木管、marucoporoporo(マルコポロポロ)の歌が奏でるメロディラインだ。和声による伴奏の上にメロディが乗るという感じではなく、環境音楽のような音の雲の中を音のラインが漂うように聞こえてくる。

笹久保のアーティストとしての発想の豊かさに改めて感心させられた作品である。

ヨーロッパの国々(1)

NPO 法人 純正律音楽研究会
正会員 弁護士 齋藤昌男

目次

緒言

第1. 東ヨーロッパ(10ヶ国)

1. ブルガリア
2. ベラルーシ
3. チェコ
4. ハンガリー
5. モルドバ
6. ポーランド
7. ルーマニア
8. ロシア
9. スロバキア

10. ウクライナ

第2. 東南ヨーロッパ(8ヶ国)

1. アルバニア
2. ボスニア・ヘルツェゴビナ
3. クロアチア
4. コソボ
5. 北マケドニア
6. モンテネグロ
7. セルビア
8. スロベニア

第3. 東ヨーロッパもしくは西アジアに区分される地域

1. アルメニア
2. ジョージア(旧グルジア)
3. アゼルバイジャン

緒言 ロシアによるウクライナ侵攻を契機として、人々のヨーロッパへの関心が高まっています。筆者は、1952年、崩壊直後のロシア、旧東ドイツ、東欧諸国を訪れた事があります。その後も東欧では、大きな紛争が起きました。今回は、ヨーロッパをもっと深く知るためにヨーロッパを取り上げました。

しかし、何処から何処までがヨーロッパなのか、意外に難しい問題でした。

『The CIA World Factbook 2021～2022』、『データブック・オブ・ザ・ワールド2022』(二宮書店発行)、インターネットの Domain 名を参考にヨーロッパを分類して、勝手に並べてみました。中分類のなかは、Domain 名と同様にABC順としてみました。

(参考文献) 上記の他、(1) Wikipedia (2) 昭文社発行『ヨーロッパ47ヶ国』(3) 朝日新聞出版発行『世界の国々』を参考としました。

第1. 東ヨーロッパ

1. ブルガリア共和国 Republic of Bulgaria

- (1) 首都 ソフィア (Sofia)
(人口 126.4万人)
- (2) 面積 11.0万km²
(九州+北海道くらい)
- (3) 人口 694.8万人
(埼玉県よりやや少ない)
- (4) 言語 ブルガリア語 (公用語)、
トルコ語、ロマニ語
- (5) 民族 ブルガリア人83.9%、
トルコ人9.4%、ロマン人4.7%
- (6) 宗教 ブルガリア正教81%、
イスラム教 (スンナ派) 12%

(7) 略史 10世紀にはフランク王国と並ぶ大帝国にまで成長しましたが、ビザンツ帝国に併合されました。14世紀にオスマン帝国が成立すると、以後500年にわたり、その支配下となりました。その間ブルガリア人は頑強にキリスト教の信仰を守り続けました。1878年に自治権を獲得し、ブルガリア公国が誕生。1908年に独立。

(8) 文化面 (i) キリル文字 9世紀には、キリルとメフォディという二人のキリスト教宣教師が、聖書をスラブ系言語で書き表すために新しい文字を発明しました。この文字から発展したのが、ロシア語などで使われるキリル文字です。ブルガリア語も、現在に至るまでキリル文字で表記されています。(ii) ブルガリアン・ヴォイス ブルガリア民謡を軸に1950年代に成立した女性合唱。独特な裏声にこぶしや不協和音が特徴。

(9) 見所 リラ (Rila) の修道院 10世紀に設立されたこの国を代表する修道院。

2. ベラルーシ共和国 (Republic of Belarus)

- (1) 首都 ミンスク (Minsk)
(人口 194.9万人)
- (2) 面積 20.8万km² (本州よりやや小さい)
- (3) 人口 944.9万人 (東京23区よりやや少ない)
- (4) 言語 ベラルーシ語 (公用語)、
ロシア語 (公用語)、ウクライナ語
- (5) 民族 ベラルーシ人83.7%、
ロシア人8.3%、ポーランド人3.1%、ウクライナ人1.7%
- (6) 宗教 ベラルーシ正教48.6%、
カトリック7.1%、イスラム教2.4%、ユダヤ教

(7) 略史 (i) ベラルーシ人はスラブ系民族で、ロシア人とウクライナ人に近い。8世紀頃にはこの地に定住しましたが、長らく自前の国を持ちませんでした。1918年にドイツ占領下でベラルーシ人民共和国が建国されましたが、その後ソ連の一部となりました。(ii) 1986年に南ウクライナでチェルノブイリ原子力発電所がメルトダウン。放射性物質は北へ飛散し、一時は国土の3割が汚染。1991年ヨーロッパ最大と謳われる原生林の別荘にロシア、ベラルーシ、ウクライナの指導者が集まり、3者はソビエト連

邦解体に合意し、ベラルーシは初めて世界史の表舞台に登場。1994年には、ルカシェンコ (Lukashenko) 大統領が誕生、2020年には6選を果たして世界史の表舞台に登場しました。

(8) 文化面 (i) シャガールの出身地。1887年にヴィーツェプスクのユダヤ人家庭に生まれました。(ii) 聖フランシスコ・ザビエル大聖堂。西部フロド (Hrodna) 市にあり、18世紀の初頭にイエズス会の教会として建てられました。ベラルーシは、正教とカトリックが共存する希少な国です。

(9) 自然 ビャウオヴィエジヤ (Bialowieza) の森。ヨーロッパ最後の原生林と呼ばれ、ポーランドとベラルーシの国境にまたがります。野生種は絶滅したヨーロッパバイソンが暮らし、ソ連解体の談合が行われたことでも知られています (広さは981km²)。

3. チェコ共和国 (Czech Republic)

(1) 略称 チェコは英語綴りだとスペルミスしやすい。そこで政府は2016年に正式な略称を Czechia (チェキア) としましたが、いまいち浸透していません。

(2) 首都 プラハ (Prague)

(人口126.7万人) (北海道+兵庫県)

(3) 面積 7.9万km² (北海道より少し小さい)

(4) 人口 1,070.9万人

(5) 言語 チェコ語 (公用語)、スロバキア語

(6) 民族 チェコ人90.4%、モラヴィア人3.7%、スロバキア人1.9%

(7) 宗教 カトリック26.8%、プロテスタント2.1%、正教0.2%、無宗教59%

(8) 略史 (i) 9世紀には「大モラヴィア王国」が栄え、チェコ、スロバキア両民族は統一国家を形成。10世紀初めマジャール人が侵入、大モラヴィア王国が滅亡。以後スロバキア地方は1,000年の間ハンガリーの支配下に置かれました。12世紀チェコ地方では、ボヘミア王国が興りました。(ii) 1918年チェコスロバキア共和国が成立。1938年ズデーテン地方はドイツに割譲。1939年ボヘミア・モラヴィア両地方はドイツの保護領となり、1945年独立を回復。1968年「プラハの春」と呼ばれる自由化路線が進められましたが、ワルシャワ条約軍により鎮圧。1989年に「ビロード革命」。1993年1月1日チェコとスロバキアは独立国家となりました。

(9) 文化人 (i) スメタナ 名曲モルダウの作曲家。(ii) アルフォンス・ミュシャ アール・ヌーボーの旗手。(iii) フランツ・カフカ ある朝起きたら一匹の毒虫になっていた『変身』で知られています。

(10) その他 (i) ボヘミアングラス。(ii) カルロヴィ・ヴァリ温泉、ズデーテン地方の温泉。入浴ではなく、飲泉が主流。

4. ハンガリー (Hungary)

(1) 首都 ブダペスト (Budapest)

(人口175.8万人)

(2) 面積 9.3万km² (北海道よりやや大きい)

(3) 人口 966万人 (東京23区位)

(4) 言語 ハンガリー語 (マジャル語) (公用語)、英語、ドイツ語、ロシ

ア語

(5) 民族 ハンガリー人 (マジダル人) 92.3%、ロマ人1.9%

(6) 宗教 カトリック51.9%、プロテスタント19.5%、ギリシャ正教2.6%、ユダヤ教

(7) 略史 (i) 9世紀にウラル山脈を起源とするマジダル人が移住してきました。(ii) 1000年にキリスト教に改宗しハンガリー王国となりました。(iii) 1526年オスマン帝国に敗れ、1541年中南部をオスマン帝国、北西部をハプスブルグ家のオーストリアにより分割統治。(iv) 1867年ハプスブルグ家はオーストリア帝国とハンガリー王国で二重君主として君臨。(v) 第1次世界大戦で敗戦国となりオーストリアと分離。(vi) 1920年3月1日、ハンガリー王国の成立が宣言され、1920年6月4日に結ばれたハンガリーと連合国とのトリアノン条約により、二重帝国時代の王国領のうち、トランシルヴァニアやハンガリー北部 (スロバキア) など面積で72%、人口で64%を失い、ハンガリー人の全人口の半数ほどがハンガリー国外に取り残されました。1939年には一部領土を回復しました。(vii) 1946年2月1日、王制が廃止され、ハンガリー共和国が成立。(viii) 1956年にハンガリー動乱が起りましたが、ソ連軍に鎮圧されました。(ix) 1989年5月西側のオーストリアとの国境に設けられていた鉄条網 (鉄のカーテン) を撤去し、国境を開放しました。これにより西ドイツへの亡命を求める東ドイツ市民がハンガリーに殺到、汎ヨーロッパ・ピクニックを引き起し、冷戦終結の引き金となりました。(x) 21世紀のハンガリーは中東からの移民増加に悩まされています。

(8) その他 (i) 日本と並ぶ世界有数の温泉大国。

5. モルドバ共和国 (Republic of Moldova)

(1) 首都 キシナウ (CHISINAU)

(人口 68.5万人)

(2) 面積 3.4万km² (九州よりやや小さい)

(3) 人口 403.4万人 (沿ドニエストルを含む) (静岡県より少し多い)

(4) 言語 ルーマニア語 (公用語)

(5) 民族 モルドバ人75.8%、ウクライナ人8.3%、ロシア人5.9%、ガガウズ人 (トルコ系) 4.4%

(6) 宗教 モルドバ正教31.8%、ベッサラビア正教16.1%、ロシア正教15.4%

(7) 略史 (i) かつてはベッサラビアと呼ばれました。14世紀頃、現モルドバ共和国を含む地域にモルダヴィア公国が成立。1512年にはオスマン帝国の宗主権下に置かれました。(ii) 18世紀後半よりバルカンをめぐるロシアとトルコの係争地となり、ベッサラビアは1812年ロシア領に編入。第1次世界大戦後の1918年ルーマニアに編入されました。(iii) 1940年ソ連はベッサラビアと北ブユヴィナを占領し、自治共和国の一部を合わせて、モルダヴィア=ソビエト社会主義共和国を創設、ソ連邦構成共和国となりました。(iv) 1989年8月31日、その4日前に発生したキシニョフにおける60万人規模の大規模なデモ行進の影響を受け、モルドバ語 (ルーマニア語) がモルダヴィア・ソビエト社会主義共和国の公用語となりました。また同年11月12日、同国の少数民族の住民であるガガウズ人 (トルコ系) により自治共

和国「ガガウズ・自治ソビエト社会主義共和国」の建国が宣言されました。(v) 1990年最初の国会議員選挙が自由選挙で行なわれました。ここからはソビエト社会主義共和国・モルドバ (SSR Moldova) となり、さらに9月2日、沿ドニエストル地域で現地に住むロシア語話者系 (スラブ系) 住民によって「沿ドニエストル・ソビエト社会主義共和国」(現在の沿ドニエストル共和国) の創設が宣言されました。(vi) 1991年8月に「モルドバ共和国」として独立を宣言。これに伴って都市名の表記も「キシニョア」と「キシナウ」(Chisinau) という様にロシア語からルーマニア語へ全て戻しました。(vii) 1991年12月25日にソ連は解体されました。

6. ポーランド共和国 (Republic of Poland)

- (1) 首都 ワルシャワ (Warsaw)
(人口 173.5万人)
- (2) 面積 31.3万km² (本州+北海道)
- (3) 人口 3,784.7万人
(東京都の3倍弱)
- (4) 言語 ポーランド語 (公用語)
- (5) 民族 ポーランド人96.7%
- (6) 宗教 カトリック88.6%、ポーランド正教1.3%
- (7) 略史 (i) 966年ピアスト朝がキリスト教を受容。(ii) 1025年ポーランド王国が成立。(iii) 1386年リトアニアのヨガイラ大公がポーランド王女と結婚、ポーランド王を兼ねる様になり、ポーランド=リトアニア同君連合が形成されました。しかし、リトアニアの勢力は次第に弱まりました。(iv) 15世紀から17世紀にかけて東ヨーロッパ屈指の大国となりましたが、その後衰えました。(v) 1772年、1793年、1795年の3度にわたってロシア、プロイセン、オーストリアの3国によって分割され滅亡しました。(vi) 第1次大戦後、1918年共和国として独立。(vii) 1939年旧ソ連とドイツによって分割されました。(viii) 1945年旧ソ連の影響下、国民統一政府が発足。ヤルタ会談で定められた国土は戦前よりも西へ移動。また第2次世界大戦では、人口の約5分の1が死亡しました。(ix) 1978年10月16日、ポーランド人のヨハネ・パウロ2世が第264代教皇に就任。ハドリアヌス6世以来455年ぶりの非イタリア人教皇にして、史上初のポーランド人教皇であります。同時に20世紀中最年少で着座した教皇でもあります。ポーランド人は、どれほど勇気付けられたことか、想像に余りあります。(x) 1980年に労働者組織「連帯」が出来、「連帯」は1982年に非合法化。1989年「連帯」が正式復権。そして国会選挙で「連帯」が圧勝。東欧初の非共産政権が成立。順調にNATO、EU加盟を果たしました。

7. ルーマニア (Romania)

- (1) 首都 ブカレスト (Bucharest)
(人口 184.8万人)
- (2) 面積 23.8万km² (本州よりやや大きい)
- (3) 人口 1,923.8万人 (東京都+北海道位)
- (4) 言語 ルーマニア語 (公用語)、ハンガリー語、ロマニ語、ドイツ語
- (5) 民族 ルーマニア人 (ラテン系) 89.5%、ハンガリー人6.6%、
ロマ人2.5%

(6) 宗教 ルーマニア正教86.7%、プロテスタント6.3%、カトリック4.7%、イスラム教

(7) 略史 (i) 14世紀にはワラキア公国、モルダヴィア公国が成立。中世にはトランシルヴァニアを含めた3公国が存在。(ii) 15世紀末ごろオスマントルコ帝国の宗主に入りました。(iii) 1878年独立。1881年ルーマニア王国が成立。(iv) 1947年－1965年ルーマニア人民共和国(v) 1965年－1989年ルーマニア社会主義共和国。しかし、ニコラエ・チャウシェスクの独裁政権。(vi) 1989年チャウシェスク独裁政権が打倒(ルーマニア革命)。その後、民主化されました。

(8) その他 誇り高きロマ人の末裔。ルーマニア語はラテン系。

8. ロシア連邦 (Russian Federation)

(1) 首都 モスクワ

(人口 1,191.8万人)

(2) 面積 1,709.8万km² (日本の約45倍) (世界最大の面積)

(3) 人口 1億4,593.4万人 (日本より多い位)

(4) 言語 ロシア語 (連邦公用語、各連邦構成主体は独自に公用語を定めています。100以上の言語。)

(5) 民族 ロシア人79.8%、タタール人3.8%、ウクライナ人2%、バシキール人1.2%、チュヴァシ人1.1%、チェチェン人0.9%、アルメニア人0.8%など100以上の民族

(6) 宗教 キリスト教58.4% (ロシア正教53.1%、カトリック1%、ウクライナ正教0.9%、プロテスタント0.9%) イスラム教8.2%、伝統宗教0.8%、ユダヤ教0.6%

(7) 略史 (i) 1480年モスクワ公国が事実上独立。(ii) 1613年ロマノフ朝が成立。(iii) 18世紀前半ピョートル大帝のもとで領土は極東まで拡大してロシア帝国が成立。(iv) 1861年農奴解放。(v) 1904年－1905年日露戦争。(vi) 1905年第1次ロシア革命。(vii) 1917年2月 (旧暦) 2月革命、ロマノフ朝に代って臨時政府。(viii) 同年11月レーニンの指導で10月 (旧暦) 革命が起こり、ソビエト政権が成立。(ix) ゴルバチョフ大統領は、1989年マルタ沖でアメリカのブッシュ大統領と会談し、東西冷戦に終止符を打ちました。(x) 1991年12月、ソ連邦が消滅。(xi) 1992年国名をロシア共和国からロシア連邦と改称。

(8) ロシア連邦内の行政区分 (i) 中央連邦管区 本部モスクワ (ii) 北西連邦管区 本部サンクトペテルブルグ (iii) 南部連邦管区 本部ロストフ (iv) 北カフカス連邦管区 本部ピヤテイゴルスク (v) 沿ヴォルガ連邦管区 本部ニジノヴゴロド (vi) ウラル連邦管区 本部エカテリンブルグ (vii) シベリア連邦管区本部ノヴォシビルスク (viii) 極東連邦管区 本部ハバロフスク

9. スロバキア共和国 (Slovakia Republic)

(1) 首都 ブラチスラバ (Bratislava)

(人口 42.1万人)

(2) 面積 4.9万km²

(中国・四国地方位)

(3) 人口 546万人 (兵庫県位)

(4) 言語 スロバキア語 (公用語)、ハンガリー語、ロマニ語、ウクライナ語

(5) 民族 スロバキア人 85.8%、ハンガリー人 9.7%、ロマ (ジプシー) 人 1.7%、チェコ人 0.8%

(6) 宗教 カトリック 68.9%、プロテスタント 10.8%、ギリシャ正教 4.1%

(7) 略史 (i) スロバキアは 11 世紀以降、長くハンガリー王国の一部でした。ハンガリーの首都ブタがオスマン帝国に占領された際は、スロバキアの現代の首都プラチスラバが、250 年近くにわたりハンガリーの首都でした。オーストリア・ハンガリー帝国の支配を脱して、1919 年にプラチスバラに改名されました。1918 年スロバキアは隣のチェコとともに独立しました。

(ii) 1968 年“プラハの春”と呼ばれる自由化路線が進められましたが、ワルシャワ条約軍により鎮圧されました。1992 年 6 月総選挙でチェコで市民民主党、スロバキアでは民主スロバキア運動が第一党となり、両党の党首会議が行われ連邦解体に合意し、1993 年 1 月 1 日チェコとスロバキアは独立国家となりました。(iii) スロバキアとなって驚異的な経済成長が続き、欧米メディアが「タトラの虎」と称讃。タトラ (Tatra) はスロバキアにある山脈の名前です。

10. ウクライナ (Ukraine)

(1) 首都 キーウ (人口 280.3 万人)

(2) 面積 60.4 万 km² (日本の約 1.6 倍)

(3) 人口 4,373.4 万人 (関東地方位)

(4) 言語 ウクライナ語 (公用語)

(5) 民族 ウクライナ人 77.8%、ロシア人 17.3%、ベラルーシ人 0.6%、モルドバ人 0.5%、クリミア＝タタール人 0.5%

(6) 宗教 ウクライナ正教 (キエフ主教派 50.4%、モスクワ主教派 26.1%、ウクライナ正教会 7.2%)、ウクライナ＝カトリック 8%、カトリック 2.2%、プロテスタント 2.2%、ユダヤ教 0.6%

(7) 略史 (i) 4～6 世紀、東スラブ人がウクライナの地に移動。(ii) 882 年キエフ＝ルーシ (キエフ大公国) が形成されました。(iii) 1240 年モンゴル人の侵入で崩壊。東スラブ人は、ロシア人、ウクライナ人、ベラルーシ人に分化。(iv) 14 世紀にリトアニア大公国とポーランドの領土に分割。1569 年全土がポーランド領となりました。(v) 1648 年フメリニツキーらのコサック軍による蜂起がおきポーランドから独立。(vi) 17 世紀後半にはロシアに接近。ロシアはコサックに独立を許し、コサックはロシアのために戦いました。(vii) その後次第にロシアの支配が強まり、1917 年のロシア革命後にソ連の一部となりました。1930 年代、ソ連が農民の強制移住、穀物の過剰徴収といった暴挙に出て人為的大飢饉ホロドモールが起きました。

(viii) 1986 年チェルノブイリ原子力発電所事故。(ix) 1991 年 8 月独立。国名を「ウクライナ」に改称。(x) 1996 年戦略核のロシアへの移送。

(xi) 2014 年ロシアがクリミア半島に侵攻。(xii) 2019 年 4 月ゼレンスキー氏が大統領となる。(xiii) 2022 年 2 月 24 日、ロシアがウクライナに侵攻。

(8) 参考までに次の記述を引用しておきます。エマニュエル・トッド著『第

三次世界大戦はもう始まっている』(文春新書) 40ページ、11行目以下、
「民族・言語・宗教の観点から言えば、ウクライナは、西部に『ユニアト信徒(ウクライナ東方カトリック教会の信徒。儀式は東方典礼を受け継ぎつつもローマ教皇の首位権を認める)のウクライナ人』、中部に『ギリシア正教のウクライナ人』、東部に『ロシア系住民(ロシア語話者)』という、三つの住民集団を抱えているのです。

このように西部(ガリツィア)、中部(小ロシア)、東部・南部(ドンバス・黒海沿岸)という三つの地域はあまりに異なっており、ソ連が成立するまで、『ウクライナ』は、『国家』として存在していなかったのです。」

第2. 東南ヨーロッパ

1. アルバニア共和国 (Republic of Albania)

(1) 首都 ティラナ (Tirana)

(人口 41.8万人)

(2) 面積 2.9万km² (四国の約1.5

倍)

(3) 人口 287.8万人 (茨城県とほぼ同じ)

(4) 言語 アルバニア語 (公用語)

(5) 民族 アルバニア人91.7%、ギリシャ人2.3%、ヴラフ人(アルマーニア)1.8%、ロマ人1.8%

(6) 宗教 イスラム教68% (スンナ派51%)、アルバニア正教22%、カトリック10%

(7) 略史 (i) 祖先は、インド・ヨーロッパ語族の古代イリュニア人。紀元前2世紀ローマ帝国に滅ぼされました。(ii) 1478年オスマン帝国の支配下に入り、400年余の支配を経て、1912年独立。しかし、この時、アルバニア人が多く住む地域がセルビアとギリシャに編入されました。セルビア編入地域が現在のコソボです。(iii) 社会主義時代に入り、1946年には王政廃止とアルバニア人民共和国設立を宣言。(iv) 1991年、初の自由選挙で、大統領制に移行し、国名をアルバニア共和国に改称。(v) ねずみ講事件 96年末からねずみ講式投資被害が全土に拡大し、国民の3分の1から半数が被害に遭い失業したとされます。97年には暴徒化し、国連軍が派遣されるほど国が乱れました。商材は武器で周辺国の紛争が落ち着いたため、ねずみ講が破綻したとも言われています。

(8) マザー・テレサの故郷 マザー・テレサことアグネス・ゴンジャ・ボヤジュは1910年8月26日、コソボ州・ユスキュプ(今の北マケドニア共和国・スコピエ)に生まれました。母のドラナはアルバニア人でありましたが、父のニコはルーマニア人と同系の少数民族・アルーマニア人でありました。マザー・テレサ自身も「血筋でいえば、私はアルバニア人」と話しており、そのことがこの国の自慢の一つです。

2. ボスニア・ヘルツェゴビナ

(Bosnia and Herzegovina)

(1) 首都 サラエボ (Sarajevo)

(人口 27.5万人)

(2) 面積 5.1万km² (四国+九州より少し小さい)

(3) 人口 328.1万人 (静岡県より少し少ない)

(4) 言語 ボスニア語 (公用語)、クロアチア語 (公用語)、セルビア語 (公用語)

(5) 民族 ボシュニヤク人 (ムスリム人) 48%、セルビア人37.1%、クロアチア人14.3%

(6) 宗教 ボシュニヤク人は多くはイスラム教、クロアチア人の多くはキリスト教 (ローマ・カトリック)、セルビア人の多くはキリスト教 (セルビア正教) です。

(7) 略史 (i) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国 (6つの共和国からなる) が成立。1991年主権国家を宣言。92年国民投票で独立宣言。これをきっかけに内戦が本格化しました。(ii) 98年 Dayton 和平合意が成立し、イスラム教徒中心のボシュニヤク人・クロアチア両勢力のボスニア=ヘルツェゴビナ連邦と、セルビア人中心のスルプスカ共和国で構成することになりました。内戦は4年近く続きましたが、内戦の死者は20万人。16年3月、オランダ=ハーグの旧ユーゴスラビア国際法廷で元セルビア人勢力指導者のカラジッチ被告に禁錮40年 (19年3月の上級審では終身刑、また17年11月ムラジッチ被告に終身刑が言い渡されました。(iii) 2004年EUは、NATO主導の部隊に代って、平和維持部隊を送っています。

(8) その他 (i) オスマン帝国やオーストリア・ハンガリー帝国の支配を受けた上に、ボスニア・ヘルツェゴビナとスルプカス共和国で構成されるため多面的な文化が特徴。(ii) モスタル旧市街のアーチ橋—2つの民族をつなぐ世界遺産の橋。東側のイスラム系地区と西側のクロアチア系をつなぐ象徴で、度々テレビでも放映されました。

3. クロアチア共和国 (Republic of Croatia)

(1) 首都 ザグレブ (Zagreb)

(人口 79万人)

(2) 面積 5.7万km² (九州+四国位)

(3) 人口 410.5万人

(静岡より少し多い)

(4) 言語 クロアチア語 (公用語)、セルビア語

(5) 民族 クロアチア人89.6%、セルビア人4.5%、ボシュニヤク人

(6) 宗教 キリスト教92.6% (カトリック87.8%)、東方正教4.4%、イスラム教1.3%

(7) 略史 (i) 7世紀に南下したスラブ人が定住。(ii) 10世紀前半にクロアチア王国成立。(iii) 1527年オーストリアのハプスブルグ家の支配に入り、第1次世界大戦後まで従属的地位にとどまりました。第1次世界大戦後にオーストリア=ハンガリー帝国が崩壊、1918年セルビア人=クロアチア人=スロベニア人王国が成立。1929年ユーゴスラビア王国と改称。(iv) 1939年クロアチアは自治州となりました。(v) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国 (スロベニア、クロアチア、ボスニア=ヘルツェゴビナ、セルビア、モンテネグロ、マケドニアの6共和国で構成) が成立。(vi) 1991年独立宣言。(vii) 1991年—1995年の民族紛争の結果、国内の民族構成が大きく変化 (クロアチア人75%→90%、セルビア人12%→4.4%)

(8) 世界遺産 ドゥブロヴニク旧市街 (Dubrovnik) 1979年に世界遺産に登録された旧市街地は「アドリア海の真珠」とも謳われる美しい街並を誇っています。アドリア海でドゥブロヴニクのライバルとなりうる都市国家はヴェネツィア共和国だけであり、15世紀から16世紀にかけて特に発展しました。

4. コソボ共和国 (Republic of Kosovo)

(1) 首都 プリシュティナ (Pristina)

(人口 20.7万人)

(2) 面積 1.1万km² (岐阜県とほぼ同じ)

(3) 人口 179.6万人 (三重県位)

(4) 言語 アルバニア語 (公用語)、セルビア語 (公用語)、ボスニア語

(5) 民族 アルバニア人92%、セルビア人5.3%

(6) 宗教 イスラム教91%、キリスト教9% (セルビア正教5.5%、カトリック3%、プロテスタント0.5%)

(7) 略史 (i) 6~7世紀にスラブ人がバルカン半島に定住。1389年コソボの戦いでオスマン帝国に敗北。1913年バルカン戦争でオスマン帝国に勝利したセルビアがコソボを奪回。(ii) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国 (6共和国で構成) が成立、コソボはセルビア共和国内の自治区 (コソボ=メトヒア自治区のち自治州と改称) となりました。1989年ユーゴスラビアのミロシェビッチ大統領がコソボの自治権を縮小、1990年アルバニア系住民が住民投票を経て「コソボ共和国」独立を宣言。(iii) 1998年アルバニア系のコソボ解放軍とセルビア治安部隊との間で武力衝突が激化し、99年NATOがセルビアの軍事施設などを空爆。セルビア軍がコソボから撤退。紛争終結後のコソボは国際管理下で再び独立宣言を出せるまでになりました。

5. 北マケドニア共和国 (Republic of North Macedonia)

(1) 首都 スコピエ (Skopje)

(人口 54.9万人)

(2) 面積 2.6万km² (新潟県の約2倍)

(3) 人口 208.3万人 (長野県とほぼ同じ)

(4) 言語 マケドニア語 (公用語)、アルバニア語、トルコ語、ロマニ語

(5) 民族 マケドニア人64.2%、アルバニア人25.2%、トルコ人3.9%、ロマ人2.7%、セルビア人1.8%、ボシュニヤック人0.8%

(6) 宗教 マケドニア正教64.8%、イスラム教33.3%

(7) 略史 (i) 古代マケドニア王国の一部でギリシャ人が多く居住していましたが、6~7世紀にスラブ人が多く侵入し多数を占めるようになりました。(ii) 15世紀にオスマン帝国に征服され、1912年第1次バルカン戦争でオスマン帝国敗北。1913年第2次バルカン戦争の結果、マケドニアはギリシャ、セルビアに分割され、1918年セルビア人=クロアチア人=スロベニア人王国が成立。(iii) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国が成立、1991年独立を宣言。

(8) 国名問題 北マケドニアは、マケドニア地方の一部であり、また民族的には後からやってきた南スラブ人であって、古代マケドニアに住んだギリシャ系とは異なっており、2019年にマケドニアは北の文字を足して改称しました。

(9) キリル文字 マケドニア語はブルガリア語に近く、キリル文字で表記します。キリル文字はスラブ言語を表記するために作られた文字です。

6. モンテネグロ (Montenegro)

(1) 首都 ポトゴリツア (Podgorica)

(人口 18.5万人)

(2) 面積 1.4万km²

(福島県とほぼ同じ)

(3) 人口 62.8万人

(船橋市とほぼ同じ)

(4) 言語 モンテネグロ語 (公用語) (但し、セルビア語のモンテネグロ方言と言える)、セルビア語、ボスニア語、アルバニア語、クロアチア語

(5) 民族 モンテネグロ人43.2%、セルビア人32%、ボシュニヤク人7.8%、アルバニア人5%、ムスリム人4%、クロアチア人1.1%、ロマ人0.4%

(6) 正教 (セルビア正教が中心) 74.2%、イスラム教17.7%、カトリック3.5%

(7) 略史 (i) 6~7世紀モンテネグロ人などのスラブ系民族がバルカン半島に定住。11世紀にセルビア王国の一部となり、1389年コソボの戦いでセルビアが敗れオスマン帝国の領土下に入りました。(ii) 1878年ベルリン条約によりオスマン帝国から完全独立。第1次世界大戦で、オーストリア=ハンガリー帝国に、1918年オーストリア=ハンガリー帝国が崩壊し、モンテネグロはセルビアに編入。(iii) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国が成立し、その中の1共和国となりました。1992年セルビアとともにユーゴスラビア連邦共和国を樹立。(iv) 2006年5月国民投票が行われ、6月に独立宣言。

(8) 言語的、文化的には、モンテネグロ人とセルビア人の違いは殆んどないそうです。

7. セルビア共和国 (Republic of Serbia)

(1) 首都 ベオグラード (Beograd)

(人口 136.9万人)

(2) 面積 7.7万km² (北海道よりやや大きい)

(3) 人口 701.2万人 (大阪府位)

(4) 言語 セルビア語 (公用語)、ハンガリー語、ボスニア語、ロマニ語

(5) 民族 セルビア人82.9%、ハンガリー人3.9%、ボシュニヤク人1.8%、ロマ人1.4%

(6) 宗教 セルビア正教85.5%、カトリック5.5%、イスラム教3.2%、プロテスタント1.1%

(7) 略史 (i) 6~7世紀に南下したスラブ系セルビア人がバルカン半島に定住。(ii) 14世紀にはドウシャン王のもとボスニアからエーゲ海に至る大セルビア王国を形成。(iii) (コソボの戦い) 1389年コソボ平原で、バルカン連合軍とオスマン帝国軍が衝突、戦いはオスマン帝国軍の勝利に終わり、以後オスマンの支配を約500年受けることになりました。(iv) 1817年セルビア公国が成立し、オスマン帝国から自治権を獲得。(v) 1878年ベルリン条約でセルビア、モンテネグロが独立。(vi) 1914年サラエボでオ

ーストリア皇太子がセルビア青年に暗殺され第1次世界大戦が勃発。(vii) 1918年オーストリア＝ハンガリー帝国の崩壊でセルビア人＝クロアチア人＝スロベニア人王国が成立し、1929年にユーゴスラビア王国と改称。(viii) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国(6共和国で構成)が成立。(ix) 1980年終身大統領であったチトー(Titto)が死去。(x) 1990年セルビア民族主義のミロシェビッチ(Milosevic)大統領に当選。(xi) 1991年スロベニア、クロアチア両共和国独立宣言、さらにマケドニアが独立宣言。(xii) 1992年ボスニア＝ヘルツェゴビナが独立宣言。セルビア、モンテネグロ独立宣言。(xiii) 03年2月国家連合「セルビア＝モンテネグロ」が発足。(xiv) 06年6月モンテネグロが独立。08年2月コソボ自治州が独立宣言。

8. スロベニア共和国 (Republic of Slovenia)

- (1) 首都 リュブリャナ (Ljubljana)
(人口 27.8万人)
- (2) 面積 2万km² (四国より少し大きい)
- (3) 人口 207.9万人
(長野県とほぼ同じ)
- (4) 言語 スロベニア語(公用語)、クロアチア語、セルボクロアチア語
- (5) 民族 スベロニア人83.1%、セルビア人2%、クロアチア人1.8%
- (6) 宗教 キリスト教61.1%(カトリック57.8%、正教2.3%)、イスラム教2.4%
- (7) 略史 (i) 6世紀末にスラブ人が定住開始。スロベニア人はフランク王国の治下でカトリックに改宗し、西欧文化圏に入りました。(ii) 1282年オーストリアのハプスブルグ家の所領となり、第1次世界大戦にオーストリア＝ハンガリー帝国が崩壊。(iii) 1918年セルビア人＝クロアチア人＝スロベニア王国が成立。1929年ユーゴスラビア王国と改称。(iv) 1945年ユーゴスラビア社会主義連邦共和国が成立。(v) 1991年独立宣言、92年クロアチア、ボスニア＝ヘルツェゴビナとともに国連加盟。04年3月NATO、5月EU加盟。
- (8) その他 (i) 一人当たりの国民総所得では中東欧で最高水準。(ii) 北部のオーストリアとの国境沿いはアルプス山脈の東端にあたります。(iii) 南部はカルスト地形が発達し、全長27kmにおよぶポストイナ鍾乳洞があります。

第3. 東ヨーロッパもしくは西アジアに区別される地域

1. アルメニア共和国 (Republic of Armenia)

- (1) 首都 エレバン (Yerevan)
(人口 107.3万人)
- (2) 面積 3.0万km²
- (3) 人口 296.3万人
- (4) 言語 アルメニア語(公用語)、ヤジディー語、ロシア語
- (5) 民族 アルメニア人97.9%、クルド人1.3%、ロシア人0.5%
- (6) 宗教 キリスト教78%(アルメニア正教73%、カトリック4%)、イスラム教2%、ヤジディー教(中東のイラク北部などに住むクルド人の一部において信じられている民族宗教)

(7) 略史 (i) 2世紀にはアルメニア高地の各地にキリスト教徒が、かなりの数に上ったと伝えられています。紀元301年に世界で初めてキリスト教を国教としました。(ii) 1636年からは、オスマン帝国とサファヴィー朝ペルシアに分割統治され、何世紀にもわたって、2つのどちらかに分割統治されました。(iii) 第1次世界大戦が始まると、150万人のアルメニア人がオスマン帝国の先祖代々の土地に住んでいましたが、組織的に絶滅させられました。(iv) 1918年、ロシア革命後、ロシア以外の全ての国が独立を宣言。しかし、1920年にアルメニア・ソビエト社会主義共和国が成立。(v) 〈ナゴルノ・カラバフ問題〉1988年住民の約8割を占めるアルメニア人がアゼルバイジャン領ナゴルノ・カラバフ自治州のアルメニア編入を要求、以来その帰属をめぐる流血の紛争が続きました。1991年12月5日、ソ連は解体・消滅し、アルメニアは晴れて独立国家となりました。しかし、ナゴルノ・カラバフをめぐるアゼルバイジャンとの紛争は現在も続いています。

(8) 地理 国土の90%は標高1,000~3,000メートルであり、国内最大の平地は首都エレバンが位置するアララト盆地で、アララト山は「ノアの方舟」で有名。高さ5,165メートルあります。隣国のトルコやイラン同様、地震が多いところです。

2. ジョージア (Georgia)

(旧：グルジア (Gruziya))

(1) 首都 トビリシ (Tbilisi)

(人口111.4万人)

(2) 面積 7万km²

(3) 人口 398.9万人 (アブハジア、南オセチアを含む)

(4) 言語 ジョージア語 (公用語)、ロシア語、アルメニア語、アゼルバイジャン語

(5) 民族 ジョージア人83.7%、アゼルバイジャン人6.5%、アルメニア人5.7%、ロシア人1.5%

(6) 宗教 キリスト教(ジョージア正教83.9%、アルメニア正教3.9%、カトリック0.8%)、イスラム教9.9%

(7) 略史 (i) 16世紀からオスマン帝国とサファヴィー朝ペルシャ、さらに18世紀にはロシアも加わり3国の支配を受けました。19世紀前半にロシア帝国に併合。(ii) 1918年メンシェビキが独立を宣言。(iii) アルメニア、アゼルバイジャンとともにザカフカス社会主義連邦ソヴィエト共和国を形成。(iv) 1990年主権宣言を採択、国名を「ジョージア共和国」に改称(1995年「共和国」を外す)。

(8) その他 (i) ジョージアは、嘗てソ連の構成国の一つでありましたが、1991年に独立を果たしました。南オセチアとアブハジアの2地域が事実上の独立状態となっており、ロシアなどの一部の国から国家承認を受けています。中央部のゴリ(トビリシの西北)は、旧ソビエト連邦の最高指導者であったヨシフ・スターリンの出身地でもあります。(ii) 日本では、2008年にロシアと国交断絶したジョージア側の要請を受け、2015年4月までの国名呼称グルジアからジョージアへ変更しました。(iii) 国家としてのジョージアは、アメリカのジョージア州とラテン文字綴り字および発音も同一ですが、地名の由来のみならず、歴史的にも何ら関連性もありません。(iv) 日本で最も有名

なジョージア人といえば、相撲界の栃ノ心。

3. アゼルバイジャン共和国

(Republic of Azerbaijan)

(1) 首都 バクー (Baku)

(人口 224.5 万人)

(2) 面積 8.7 万km²

(3) 人口 1,013.9 万人

(ナゴルノ＝カラバフを含む)

(4) 言語 アゼルバイジャン語 (公用語)、レズギン語、ロシア語、アルメニア語

(5) 民族 アゼルバイジャン人 91.6%、レズギン人 2%、アルメニア人 1.3%、ロシア人 1.3%、タリシュ人 1.3%

(6) 宗教 イスラム教 87% (シーア派 53%、スンナ派 34%)

(7) 略史 (i) 1936年アゼルバイジャン＝ソビエト社会主義共和国としてソ連邦の一員となりました。(ii) 1989年旧ソ連邦の中で最も早く主権宣言を行い、1991年に現国名に変更、独立を宣言。(iii) 1991年独立国家共同体 (CIS) に参加。(iv) 1991年12月25日付でソ連邦は解体・消滅。これにより、アゼルバイジャンは晴れて独立国家となりました。

(8) 国土 東はカスピ海に面し、北はカフカス山脈に面します。キュル川を中心に広がるキュル＝アラス低地は、標高が海面下の部分が多い。

(9) その他 石油埋蔵量は世界有数で、カスピ海岸のバクー油田は有名。

以上

2022年9月10日脱稿

今後のスケジュール

【癒しのクリスマスコンサート 2022】

2022年12月22日(木曜日)14時開演

会場：横浜市磯子区民センター「杉田劇場」



おたより募集！

会報のご感想、ご意見、純正律音楽にまつわること等々、なんでもお寄せ下さい。たくさんのお便りを、お待ちしております。

次号の【ひびきジャーナル】にてご紹介させて頂きたいと思っております。

〒168-0072

東京都新宿区百人町 4-4-16-1218 NPO 法人 純正律音楽研究会

お電話：03-5389-8449 FAX：03-5389-8449

e-mail：puremusic0804@yahoo.co.jp <http://just-int.com/>

2022年11月28日 発行責任者：NPO 法人 純正律音楽研究会

編集：相坂政夫

*純正律音楽研究会 YouTube チャンネルを開設しました。
コンサートや CD 紹介の映像が当会ホームページからご覧いただけます。
<http://just-int.com/>